

社会資本総合整備計画

じょうのえきみなみちく だい かいへんこう
城野駅南地区都市再生整備計画(第2回変更)

平成30年 7月 4日

ふくおか きたきゅうしゅう
福岡県 北九州市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年 7月 4日

計画の名称	城野駅南地区都市再生整備計画			重点配分対象の該当	×
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	北九州市		
計画の目標					

大目標 ○公共施設等が集積する城野駅南地区の魅力を高め、誰もが安心して快適に生活できる文化的で質の高いまちづくりを推進する。
 小目標 ○生活支援拠点の中核施設としてや、地域の文化・交流の拠点となる施設として、利用者の利便性にも配慮した公共施設の再整備を行い、賑いの創出を図る。
 ○文化的で質の高いまちづくりを推進するため、図書館を建設し、地域住民の生涯学習活動等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化を図る。
 ○総合療育センター及び特別支援学校の移転整備に伴い、小倉南区春ヶ丘地区(城野駅南地区内)の施設を再配置することにより、同地区を医療・福祉・教育の連携による障害児支援の拠点として機能強化を図り、障害のある子どもたちが安心して生活・学習できるまちづくりを目指す。
 ○都市機能の集積に対応し、周辺の道路や公共施設におけるバリアフリー化などにより、高齢者、障害のある人など誰もが便利に快適に暮らせる人にやさしい安全なまちづくりを推進する。

計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者数を、93,373人(H24)から150,000人(H30)に増加 ・総合療育センター入所入院数を、86人(H24)から165人(H31)に増加 ・総合療育センター外来診療件数を、42,800件(H24)から43,000件(H31)に増加 				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30・31末)	
	図書館の貸出者数を計測する							93,373人/年	-人/年	150,000人/年	
	総合療育センターの入所入院数を計測する							86人/年	-人/年	165人/年	
	総合療育センターの外来利用者を計測する							42,800件/年	-人/年	43,000人/件	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,086.6百万円	A	3,086.6百万円 (うち提案事業分 0百万円)	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 A(提案分)+C/(A+B+C)	0.0%	

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業 費 (百万円)	費用便益 比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A1	都市再生	一般	北九州市	直接	北九州市	城野駅南地区都市再生整備計画 (社会資本整備総合交付金分)	図書館、総合療育センター、道路、公園等(108ha)	北九州市						3,086.6			
									合計					3,086.6			

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業 費 (百万円)	費用便益 比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
									合計								

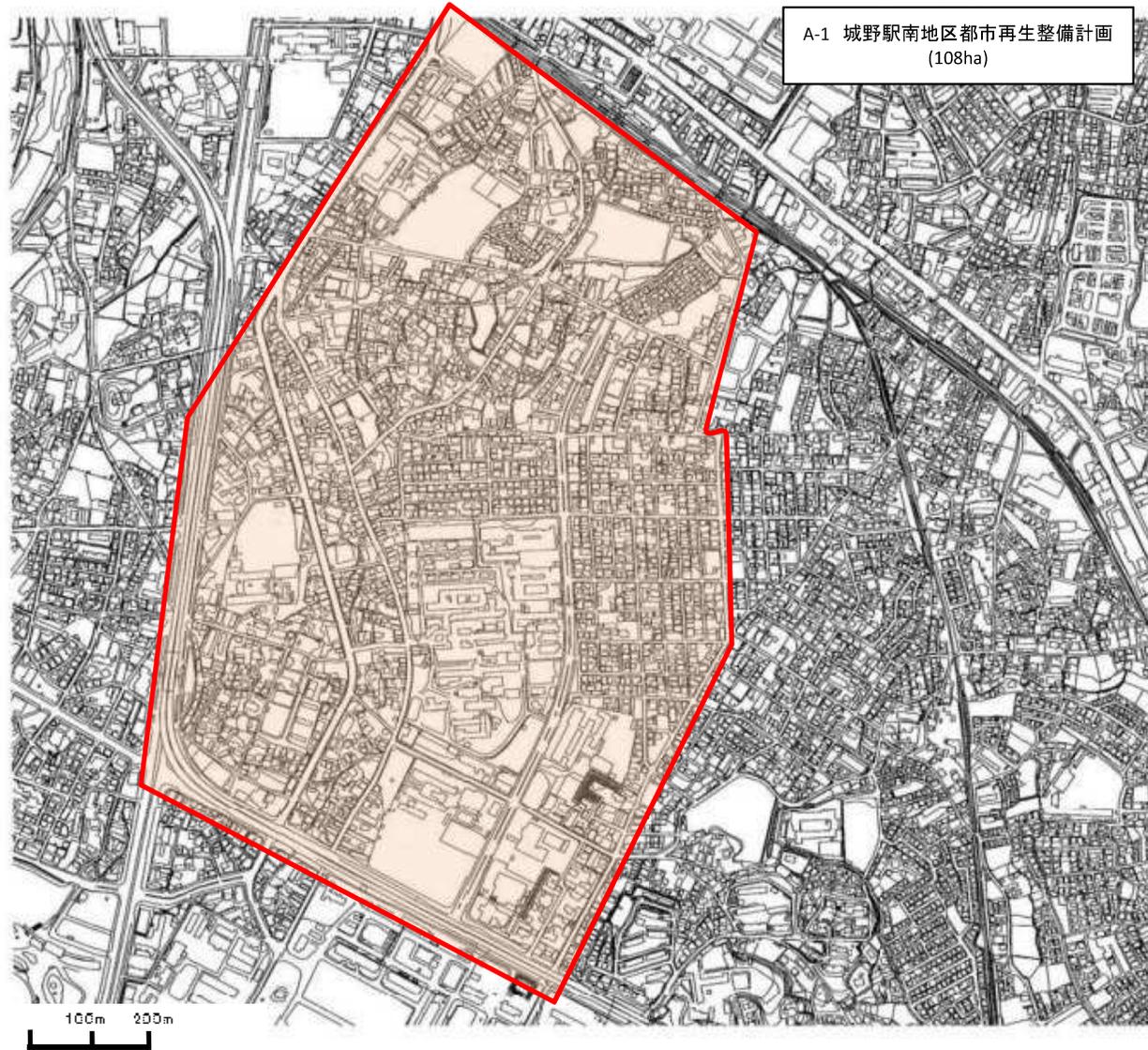
C 効果促進事業(該当なし)															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業 費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業 費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	城野駅南地区	交付対象	福岡県北九州市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		

平成:



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	67.2	33.4	720.2	718.1	0
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0	0
交付額 (c=a+b)	67.2	33.4	720.2	718.1	0
前年度からの繰越額 (d)	0.0	24.5	0.0	417.3	85.2
支払済額 (e)	42.7	57.9	302.9	1050.2	85.2
翌年度繰越額 (f)	24.5	0.0	417.3	85.2	0
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率 が10%を超えている場合その理由					

※平成26年度以降の各年度の決算額を記載

都市再生整備計画(第2回変更)

じょうのえきみなみ
城野駅南地区
(地方都市リノベーション事業)

ふくおか 福岡県 きたきゅうしゅうし 北九州市

平成30年 7月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	城野駅南地区(地方都市リノベーション事業)	面積	108 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
				交付期間	平成	26	年度
						30	年度

<p>目標</p> <p>大目標 ○公共施設等が集積する城野駅南地区の魅力高め、誰もが安心して快適に生活できる文化的で質の高いまちづくりを推進する。</p> <p>小目標 ○生活支援拠点の中核施設としてや、地域の文化・交流の拠点となる施設として、利用者の利便性にも配慮した公共施設の再整備を行い、賑いの創出を図る。 ○文化的で質の高いまちづくりを推進するため、図書館を建設し、地域住民の生涯学習活動等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化を図る。 ○総合療育センター及び特別支援学校の移転整備に伴い、小倉南区春ヶ丘地区(城野駅南地区内)の施設を再配置することにより、同地区を医療・福祉・教育の連携による障害児支援の拠点として機能強化を図り、障害のある子どもたちが安心して生活・学習できるまちづくりを目指す。 ○都市機能の集積に対応し、周辺の道路や公共施設におけるバリアフリー化などにより、高齢者、障害のある人など誰もが便利で快適に暮らせる人にやさしい安全なまちづくりを推進する。</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントの取り組みを含む)</p> <p>昭和38年2月に5市合併によって「北九州市」が発足し、その後、昭和49年4月1日の「7区制」により「小倉区」が南北に分かれて「小倉南区」が誕生した。小倉南区では市街地が拡大し、各種都市施設も着々と整備されるなど都市化が進んでおり、人口は約21万人(平成25年度現在)と市内で2番目の人口の行政区である。</p> <p>市全体のまちづくりの方向性として、「北九州市都市計画マスタープラン」において、まちづくりの基本姿勢として、「街なかの重視」「ストックの活用」などを進めることとしている。</p> <p>これは、都市活力の再生、少子・高齢化の成熟社会における市民ニーズへの対応、環境負荷の低減などの課題に対応していくとともに、効率的な投資を実現するために、生活や交通の利便性が高く、生活や産業を支援する各種機能が充実している「街なか」を重視して、多くの人が住むことができるまちづくりを進めていくものであり、また、都市ストックを活用し、新しい時代に必要な機能を加えて再生・強化していく、循環型の効率的なまちづくりを進めていくものである。</p> <p>また、平成25年11月に公表した「市行財政改革大綱(案)」においては、「市の将来を見据え、真に必要な施設については整備・更新する一方で、全体の保有量を抑制する観点から、施設の複合化や多機能化を進めるとともに、整備当初の使命が薄れた施設は廃止する」など、選択と集中による公共施設マネジメントに取り組むことになっている。</p> <p>こうした市全体としての方向性も鑑み、小倉南区においても、「街なか居住」の促進を図るとともに、公的不動産の有効活用の観点からは、若園四丁目公園と小倉南特別支援学校の敷地を活用した図書館建設を、施設の集約化の観点からは、現在3棟ある総合療育センターの施設を1棟に集約し、再整備を図るほか、文部科学省の補助金を利用した北九州特別支援学校と企救特別支援学校の両施設の統合整備と合わせて、さらなる都市機能の向上と集積を図り、再構築(リノベーション)を推進することとしている。</p>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>城野駅南地区周辺は、小倉南区役所を中心として、消防署、警察署などの行政機関や医療機関にとどまらず、小学校・中学校・高等学校及び大学や特別支援学校など多くの教育機関も集中しているサービス拠点であるが、人口規模に比してサービスが行き届いていない施設や施設の老朽化や市民ニーズの変化に応じて、十分に満足なサービスがいたっていない施設もあり、有効な土地利用や施設利用の必要性が高まってきた。</p> <p>このため、既存施設である「企救こどもと母のとしよかん」を廃止して、新たに地域住民の文化活動やコミュニティ活動の拠点となる「地区図書館」を建設する他、本市の障害児の療育及び医療の中核施設である「総合療育センター」を中心とする障害福祉関連施設の再配置、さらに特別支援学校の統廃合を行うなど、さらなる都市機能の向上と集積を図り、再構築(リノベーション)を推進することとしている。</p>
<p>課題</p> <p>①行政機関や教育機関などの公共施設の配置や民間分譲住宅などの整備が行われてきたが、地域住民の文化活動やコミュニティ活動の場が十分でない。</p> <p>②小倉南区は、人口が市内で2番目であるにも関わらず、市内の行政区で唯一、地区図書館がなく、区民の地区図書館の建設に対する期待感が高い。</p> <p>③小倉南区内の図書館としては、現在、小倉南区役所横の小倉南生涯学習センター内の「企救こどもと母のとしよかん」と、曽根出張所内の「そねっと」しかなく、いずれも中央図書館の分館として位置づけられており、人口規模に比較して蔵書数が少ないなど、十分な図書館サービスが出ていない。</p> <p>④総合療育センターは、昭和53年の開設以来、本市の障害児の療育及び医療の中核施設として様々な先進的な取り組みを行い、全国的にも誇れる大きな成果を挙げてきたが、開設後35年が経過し、施設の老朽化や狭隘化が進み、利用者の増加やニーズの多様化、拡大化に十分対応出来ていない。</p> <p>⑤高齢者や障害のある人の円滑で安全な移動を確保するため、歩行者空間と分離した自転車道を確保するなど、周辺道路の整備・改善が必要である。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>「北九州市都市計画 マスタープラン 小倉南区構想」における企救地区のまちづくりの目標に、「都市機能の集積による、文化的で活気に満ちあふれるまちづくり」を掲げており、良好な住環境、教育環境など、多くの都市機能を充実・活用し、多くの人が交流する文化的で活気に満ちあふれたまちを形成していくこととしている。図書館の建設や総合療育センターの移転整備は、当該目標を達成するための中核的な施設と考えられる。また、同目標に、「利便性の高い多様な交通環境と安全で快適な歩行者空間をもつまちづくり」を掲げ、交通利便性を活かし、ゆとりのある歩行者・自転車空間とバリアフリーに配慮した道路整備を行い、便利で快適な生活ができるまちを形成していくこととしている。本整備計画の実施にあたっては、ゆとりのある歩行者・自転車空間と車椅子等にも配慮した周辺道路の整備を行い、また公園整備を行うことにより、すべての市民が、便利で快適な生活ができるまち形成することができると考えている。</p>

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方

城野駅南地区は小倉北区の都心とを結び、JRやモノレール、バスなどの公共交通機関も充実しており、また区役所、消防署、警察署などの行政機関があり、学校などの教育機関や医療機関が多く、区内はもとより、区外からも多くの人が訪れる地区である。

平成21年に策定した「北九州市都市計画 マスタープラン 小倉南区構想」において、「城野駅南地区(企救地区)」の将来像を「充実した教育施設、利便性の高い交通環境を活かし、誰もが住みたくなる質の高い、魅力的なまち」と定め、「都市機能の集積による、文化的で活気に満ち溢れるまちづくり」、「利便性の高い多様な交通環境と安全で快適な歩行者空間をもつまちづくり」、「身近な自然を活かした潤いと安らぎのある生活空間をもつまちづくり」を目標に、さらなる都市機能の向上と集積を図り、再構築(リノベーション)を推進することとしている。

そこで、市内の行政区で唯一地区図書館がなく、人口規模に比較して蔵書数が少ないなど、十分な図書館サービスが出来ていない小倉南区において、若園四丁目公園の敷地の一部と小倉南特別支援学校の敷地の一部を利用して、新たに図書館機能の拠点となる地区図書館を建設する。それに伴い、現在、小倉南区役所横の小倉南生涯学習センター内の「企救こどもと母のとしょかん」については廃止の方向で考えており、跡利用については効果的かつ効率的な資産活用に向けて、様々な観点から今後のあり方を検討していく。

また、小倉南区春ヶ丘地区(城野南地区内)において、総合療育センターをはじめ特別支援学校や春ヶ丘学園、発達障害者支援センターなど障害福祉に関わる施設の再配置を行い、北側を教育・相談支援ゾーン(特別支援学校等)、南側を医療・福祉・リハビリゾーン(総合療育センター、春ヶ丘学園)として整備することで、各施設の充実及びより効果的な連携を図っていく。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方(民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む)

地域住民の生涯学習活動等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化に繋がる図書館の建設、それと医療・福祉・教育の連携による障害児支援の拠点として機能強化を図りつつ、障害のある子どもたちが安心して生活・学習できる環境を目指すため総合療育センターと特別支援学校の移転整備を行うことで、土地利用の転換・公共施設のリニューアルなどが進み、周辺の都市機能が集積することできる。

また、バリアフリーに配慮した安全で快適な歩行者空間を創出した周辺道路の整備を行うことで、アクセス機能及び利便性、回遊性の向上により、その利便性を活かした市街地中心部への居住促進や賑わいの創出に繋がる。

地方都市リノベーションに必要となるその他の交付対象事業等

若園重住2号線

城野駅南地区の中心道路として、障害児が通う学校・病院等や行政機関など都市機能が集積するエリアであるため、障害者や高齢者にも配慮した安全で快適な歩行者空間を確保し、また利用者の利便性に配慮した自転車専用レーンなど周辺道路等の整備を進める。

北方1号公園

地域住民の交流活性化や健康維持などで今後も活用されるため、また敷地の一部を図書館整備に活用する「若園四丁目公園」の面積減少にともなって、これまでの公園利用が出来なくなる部分を補い、老朽化が進んでいる公園施設全体の再整備を行う。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
図書館利用者数	人	図書館の貸出者数	施設利用度を示す指標として使用する。	93,373	平成24年度	150,000人	平成30年度
総合療育センター入所入院数	人	入所入院数	施設利用度を示す指標として使用する。	86人	平成24年度	165人	平成31年度
総合療育センター外来診療件数	件	外来利用者数	施設利用度を示す指標として使用する。	42,800件	平成24年度	43,000件	平成31年度

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 (生活支援拠点の中核施設としてや、地域の文化・交流の拠点となる施設として、利用者の利便性にも配慮した公共施設の再整備を行い、賑いの創出を図る。)</p> <p>○地域住民の交流活性化や健康維持などに活用されるよう施設全体の老朽化が進んでいる公園を、利用者の利便性などに配慮した再整備を行う。</p>	<p>■公園: 北方1号公園 (改良工事)</p>
<p>整備方針2 (文化的で質の高いまちづくりを推進するため、図書館を建設し、地域住民の生涯学習活動等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化を図る。)</p> <p>○市内の行政区で唯一、地区図書館がない小倉南区に図書館を建設し、地域住民の生涯学習等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>○生活支援、交流拠点の機能補完を図るため、図書館を新設する。</p>	<p>■地方都市リノベーション推進施設: 図書館(地域交流センターを含む)</p>
<p>整備方針3 (総合療育センター及び特別支援学校の移転整備に伴い、小倉南区春ヶ丘地区(城野駅南地区内)の施設を再配置することにより、同地区を医療・福祉・教育の連携による障害児支援の拠点として機能強化を図り、障害のある子どもたちが安心して生活・学習できるまちづくりを目指す。)</p> <p>○総合療育センター施設の狭小化による機能の強化や拡充のための再整備に伴って、春ヶ丘地区(城野駅南地区内)施設の再配置を行うことにより、</p> <p>○特別支援学校や春ヶ丘学園、発達障害者支援センターなど障害福祉に関わる施設の充実や、より効果的な連携を図る。</p>	<p>■地方都市リノベーション推進施設: 北九州市立総合療育センター</p>
<p>整備方針4 (都市機能の集積に対応し、周辺の道路や公共施設におけるバリアフリー化などにより、高齢者、障害のある人など誰もが便利で快適に暮らせる人にやさしい安全なまちづくりを推進する。)</p> <p>○障害児が通う学校・病院等や行政機関など都市機能が集積するエリアであるため、障害者や高齢者にも配慮した安全で快適な歩行者空間を確保し、また利用者の利便性に配慮した自転車専用レーンの整備など周辺道路等の整備を進める。</p>	<p>■道路: 若園重住2号線(道路改良等工事)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

城野駅南地区(福岡県北九州市)

面積

108.0ha

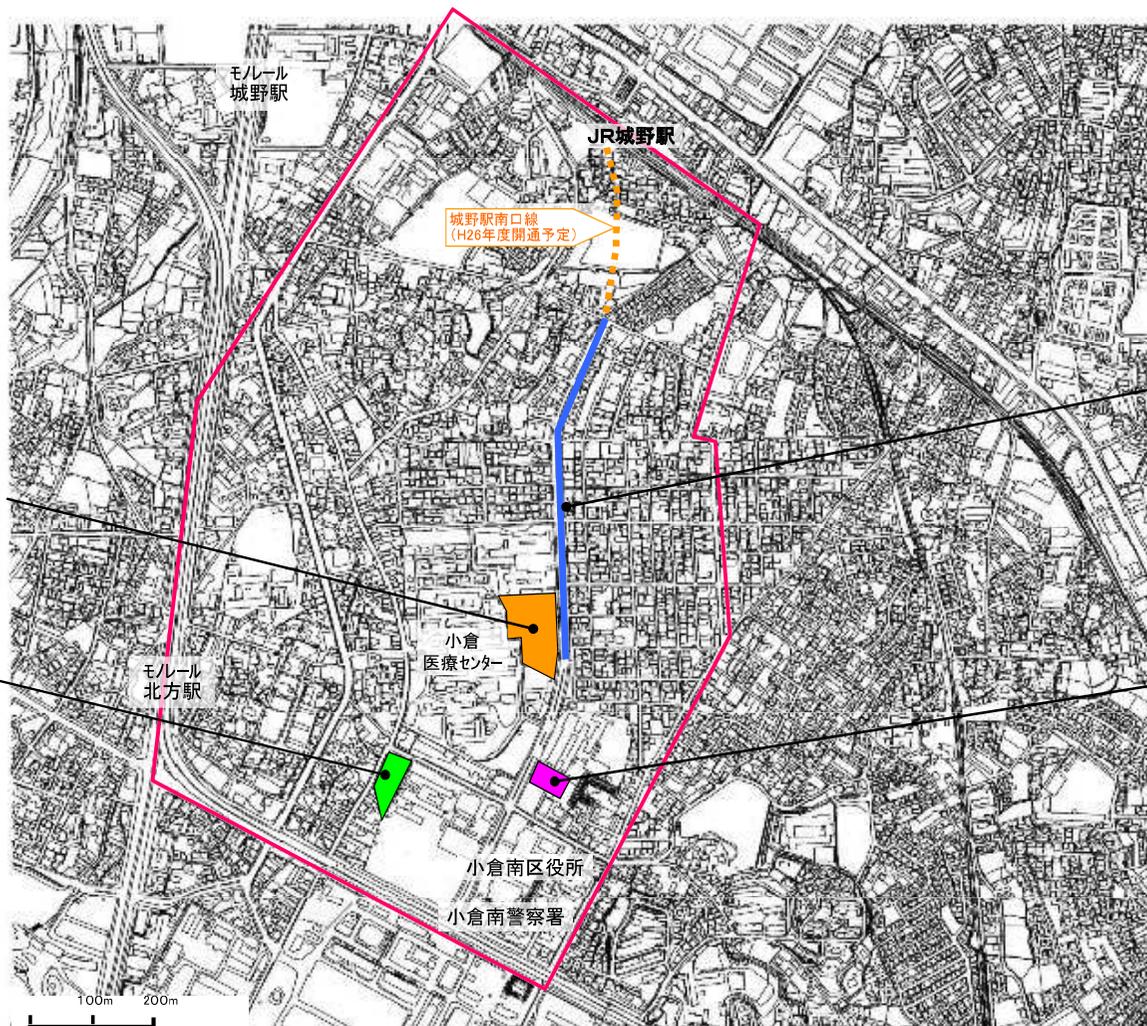
区域

北九州市小倉南区富士見一丁目、城野一丁目、城野二丁目、城野三丁目、城野四丁目、北方一丁目、北方二丁目、春ヶ丘、重住一丁目、若園一丁目、若園四丁目、若園五丁目



城野駅南地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図

目標	公共施設等が集積する城野駅南地区の魅力高め、安全、安心に、誰もが住みたくなる質の高いまちづくりを推進する。	代表的な指標	図書館利用者数 (人)	93,373 (24年度)	→	150,000 (30年度)
			療育センター入所入院数 (人)	86 (24年度)	→	165 (31年度)
			療育センター外来診療件数 (件)	42,800 (24年度)	→	43,000 (31年度)



■ 基幹事業
〔地方都市リノベーション推進施設〕
市立総合療育センター

■ 基幹事業〔公園〕
北方1号公園

■ 基幹事業〔道路〕
若園重住2号線

■ 基幹事業
〔地方都市リノベーション推進施設〕
市立小倉南図書館

<凡例>
基幹事業
関連事業